

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ユアスペース 末広町教室			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 1日 ～ 2026年 4月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 4月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	不登校、行き渋りのある子どもへの日中支援	まずは「子どもたちの安心できる居場所」を最優先に考え、自由度の高い支援の中で、個々の課題、ニーズを汲み取り日々の支援に繋げている。必要に応じて、出席認定等での学校との連携も図っている。	「子どもたちの安心できる居場所」を職員間で常に意識し、柔軟に変化していけるよう日々研鑽する。
2	それぞれのペースに合わせた学習サポート	学校の宿題サポートはもちろん、本人や保護者とのやり取りの中でニーズをくみ取り、学校の授業とは別で本人のペースに合わせた学習サポートを実施。	できる限り本人に合わせた環境、方法でサポートをしていけるよう、本人や保護者とのやり取りの中で学習に対するニーズを丁寧に汲み取り、実践していく。
3	本人の好きな物（ボードゲーム、テレビゲーム、VR、パソコン、クラフト等）をツールとして、他者との関わりを持つことができる。	子どもの好きなものがきっかけとなり、コミュニケーションが苦手な子どももスムーズに他者と関わりを持つことができる。そこで生まれるコミュニケーションの中で、それぞれの課題克服や社会スキルを身につけていけるようサポートしている。	何がコミュニケーションのきっかけとなるかを常に意識して子どもと関り、一人一人が安心して通う事ができる環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	不登校・行き渋りのお子様、ご家族と繋がり、サポートしていく事への難しさ。	学校への行きづらさを感じているお子様やご家族に、ユアスペースのような場所があるということがなかなか伝わっておらず、利用に繋がっていない方が多くいる。	定期的に事業所に関しての案内チラシなどを関係機関に配付、SNS活動も活発にし、事業所の周知活動を継続的にやっていく。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	個々に保護者同士の繋がりや情報交換の場を希望する声は聞くが、実施日の調整の難しさなどで場を設ける事ができていない。	保護者様のニーズのヒアリングからはじめ、効果的な場を設ける事ができるよう企画検討していく。
3	不登校支援そのものがあまり浸透していない。	関係機関や地域への周知活動が弱い。	共通の支援を目指す他機関、他事業所とつながり、不登校支援が地域の中に溶け込んでいけるようイベントの企画などに取り組んでいく。